

動物実験に関する自己点検・評価報告書  
(2024 年度)

2026 (令和 8) 年 3 月

## I. 規程及び体制等の整備状況

### 1. 機関内規程

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 尚絅学院大学動物実験等に関する規程 尚絅学院大学動物実験倫理委員会内規
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に即した機関内規程が適切に定められている。
4) 改善の方針、達成予定時期 記載すべき事項なし。

### 2. 動物実験倫理委員会

1) 評価結果 ■ 基本指針に適合する動物実験倫理委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験倫理委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験倫理委員会は置かれていない。
2) 自己点検の対象とした資料 尚絅学院大学動物実験等に関する規程 尚絅学院大学動物実験倫理委員会内規 2024年度学務分掌
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。） 基本指針に即した動物実験倫理委員会が設置されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 記載すべき事項なし。

### 3. 動物実験の実施体制

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験の実施体制が定められていない。
2) 自己点検の対象とした資料 尚絅学院大学動物実験等に関する規程 尚絅学院大学動物実験倫理委員会内規 尚絅学院大学における動物実験実施ガイドライン 尚絅学院大学における動物実験施設利用の手引 (2014.10.27 改訂) 動物実験計画書 (様式 1) 動物実験審査結果通知書 (様式 2) 動物実験計画(変更・追加)承認申請書 (様式 3) 動物実験・教育研修計画審査結果異議申立書 (様式 4) 動物実験結果報告書 (様式 5) 実験動物飼養保管状況報告書 (様式 6)
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 動物愛護の 3R の原則ならびに基本指針に即した実施体制が整っており、動物実験実施ガイドライン、動物実験施設利用の手引はじめ、実験の計画・報告に関する各種様式も整備されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 記載すべき事項なし。

### 4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

(遺伝子組換え動物実験、感染動物実験等の実施体制が定められているか?)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 記載すべき事項なし。
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点があれば、明記する。) 記載すべき事項なし。
4) 改善の方針、達成予定時期 記載すべき事項なし。

## 5. 実験動物の飼養保管の体制

(機関内における実験動物の飼養保管施設が把握され、各施設に実験動物管理者が置かれているか?)

<p>1) 評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><li><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</li><li><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</li><li><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</li></ul>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>尚綱学院大学動物実験等に関する規程</p> <p>尚綱学院大学動物実験倫理委員会内規</p> <p>尚綱学院大学における動物実験実施ガイドライン</p> <p>尚綱学院大学における動物実験施設利用の手引 (2014.10.27 改訂)</p> <p>尚綱学院大学における実験動物の飼育管理に伴う創傷、疾病の発生予防マニュアル (2014.10.27 制定)</p> <p>尚綱学院大学における逸走動物捕獲措置マニュアル (2014.10.27 制定)</p> <p>館内見取り図 (『学生生活 Guide Book 2020 年度・2021 年度入学生用』付録)</p> <p>2024 年度実験動物飼養保管状況報告書 (2024.3.31)</p> <p>2024 年度 動物実験施設管理報告 (2024.3.31)</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・学内の飼養保管施設 (1 箇所: 動物実験室 (1-501 は前室、1-502 は動物実験室、1-503 は動物飼育室として使用) が把握されている。基本指針及び尚綱学院大学動物実験倫理委員会内規に沿って、施設に実験動物管理者 (1 名) が置かれ、適切に管理されている。</li><li>・動物実験室 (1-502) 出入口と動物飼育室 (1-503) の出入口に高さ 60cm のネズミ返しを設置されている (2014 年度設置)。</li><li>・動物実験室 (1-502) に以下の規程、手引、マニュアルなどが常備されている。 尚綱学院大学動物実験等に関する規程 尚綱学院大学動物実験倫理委員会内規 尚綱学院大学における動物実験実施ガイドライン 尚綱学院大学における動物実験施設利用の手引 尚綱学院大学における実験動物の飼育管理に伴う創傷、疾病の発生予防マニュアル 尚綱学院大学における逸走動物捕獲措置マニュアル</li><li>・動物実験室 (1-502) に動物に噛まれたことによるアナフィラキシーショックに対する注意喚起や緊急処置を要するときの対処方法が掲示されている。</li><li>・動物実験室 (1-502) に救急箱が常設され、救急箱内の常備薬についても使用期限が適切に管理されている。さらに設置場所が明示されている。</li><li>・実験動物の種類と数等について、その記録が適切になされている。</li></ul>

4) 改善の方針、達成予定時期  
記載すべき事項なし。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

2019年の外部検証において、感染事故が起こった時の対策、対処法の順番を検討し、マニュアルを作成する必要性を指摘されていたが、現在未実施である。2025年度の継続検討課題とする。

II. 実施状況

1. 動物実験倫理委員会

（動物実験倫理委員会は、機関内規程に定めた機能を果たしているか？）

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、適正に機能している。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

① 尚綱学院大学動物実験倫理委員会内規（2012年4月1日改正）

② 2024年度第1回動物実験倫理委員会議事録（2024年5月23日）

- ・動物実験終了報告書（第023号、第024号）の審査
- ・2023年度動物実験施設管理報告
- ・2023年度実験動物飼養保管状況報告
- ・2023年度ラット感染症検査報告（2023年7月、2024年1月の2回実施）
- ・2024年度動物実験計画（2024年5月17日申請）の審査
- ・申請動物実験計画の承認（動物実験計画審査結果通知書 第25号）

③2025年度第5回動物実験倫理委員会議事録（2026年3月18日）

- ・2024年度動物実験施設管理報告
- ・2024年度実験動物飼養保管状況報告書
- ・2024年度ラット感染症検査成績報告
- ・2024年度動物実験終了報告（第025号）の審査

※ 2023年度に動物実験に関する自己点検・評価（2022年度）を実施しなかったため、2024年度に2022年度と2023年度の2年間を対象として自己点検・評価の実施が提案されたが、2022年度と2023年度の自己点検・評価の審議が未実施となっているため、2026年3月18日に2024年度の評価と合わせて実施。

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

尚綱学院大学動物実験倫理委員会内規 第2条（所掌事項）に定める役割に沿って概ね適切に果たしている。しかし、2022年度と2023年度の自己点検評価の審議が未実施であること、2024年度終了報告の審査が2025年度末に大幅にずれこむなど、円滑に自己点

<p>検が実施できるよう体制の見直しと改善が必要である。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>自己点検評価は、単年度毎に実施することが基本であり、継続してかなければならない。</p>

## 2. 動物実験の実施状況

(動物実験計画書の立案、審査、承認、結果報告が実施されているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>① 動物実験計画書「(1) 基礎栄養学実験：たんぱく質の栄養評価実験 (2) 飼育室の衛生管理：ラットの感染症検査 モニター動物」2024年5月17日提出 動物実験計画審査結果通知書 (承認：第025号) 第025号 動物実験終了報告書 2024年度第1回動物実験倫理委員会議事録 (2024年5月23日) : 実験計画書の審査 2025年度 第5回動物実験倫理委員会議事録 (2026年3月18日) : 実験終了報告書の審査</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>すべての実験計画に関して適切な報告書が提出され、動物実験倫理委員会において審議されている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>記載すべき事項なし</p>

## 3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

(当該実験が安全に実施されているか?)

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>記載すべき事項なし。</p>
<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。)</p> <p>記載すべき事項なし。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>記載すべき事項なし。</p>

#### 4. 実験動物の飼養保管状況

(実験動物管理者の活動は適切か? 飼養保管は飼養保管手順書等により適正に実施されているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ・ 2025 年度 第 5 回尚絅学院大学動物実験倫理委員会議事録 (2026 年 3 月 18 日) 動物飼育室温湿度記録、実験動物飼養保管記録、動物飼育・実験室管理記録、 動物実験実施記録、動物実験室入退室記録簿、ラット感染症検査成績
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) ・ 当該飼養保管施設で尚絅学院大学における動物実験実施ガイドライン、尚絅学院大学における動物実験施設利用の手引に基づき実験動物管理者が適切に管理している。 ・ 飼養保管施設の温湿度管理状況の記録をはじめ、動物実験ごとの実験動物飼養保管記録、動物実験実施記録も整備されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 記載すべき事項なし。

#### 5. 施設等の維持管理の状況

(機関内の飼養保管施設は適正な維持管理が実施されているか? 修理等の必要な施設や設備に、改善計画は立てられているか?)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物飼育室温湿度記録
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) ・ 動物飼育室温湿度記録により随時温度変化を観察し、必要に応じてエアコンの設定をマニュアルで変えている状況にあるが、概ね適切な温度管理が現している。 ・ 2017 年度に連続排水可能な除湿機が導入されて以来、夏季の高湿度が改善された。 ・ 例年、相対湿度が 40%以下にならないように、気化式加湿機 1 台、スチーム式加湿機 2 台で冬季の加湿を行っていたが、2024 年度の実験動物の飼育は 8 月 7 日で終了したため、冬季間の加湿調整は必要なかった。
4) 改善の方針、達成予定時期 ・ 空調の問題については、今後も引き続き記録を蓄積し、状況をチェックする。

## 6. 教育訓練の実施状況

(実験動物管理者、動物実験実施者、飼養者等に対する教育訓練を実施しているか?)

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 動物実験計画書 (025 号) 動物実験結果報告書 (025 号) 動物実験教育訓練実施記録
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 動物実験計画書において、動物実験実施者 (責任者を含む) の教育訓練受講歴が明記されているほか、動物実験教育訓練実施記録には、訓練内容の資料、受講者についての詳細が適切に記録されている。
4) 改善の方針、達成予定時期 記載すべき事項なし。

## 7. 自己点検・評価、情報公開

(基本指針への適合性に関する自己点検・評価、関連事項の情報公開を実施しているか?)

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 尚絅学院大学ホームページ
3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 必要な情報が、本学のホームページで公開されている。 2022 年度、2023 年度の自己点検・評価が現時点でホームページに未公開である。 自己点検・評価について、審議終了後、速やかに公開する。
4) 改善の方針、達成予定時期 記載すべき事項なし

## 8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

特記事項なし
--------